

おかやま労福協

一般
社団法人 岡山県労働者福祉協議会

(No.255) 2026・1・1発行

発行所：一般社団法人岡山県労働者福祉協議会

TEL.086 (253) 1569 FAX.086 (253) 0999

〒700-0086 岡山市北区津島西坂1-4-18

【URL】<http://oka-rofuku.com/>

発行人：堅田 裕之

印刷所：株式会社創文社 086 (244) 1155



新年あけまして
おめでとうございます。



国宝 吉備津神社 再建600年

目次

●念頭のごあいさつ

岡山県労福協	会長 小橋 政次	P 2
岡山県	知事 伊原木隆太	P 3
連合岡山	会長 小橋 政次	P 4
中国労働金庫東部エリア営業本部	本部長 森 信之	P 4
こくみん共済coop岡山推進本部	本部長 原田 茂	P 5
岡山県生協連	会長理事 田中 照周	P 5
●2025年度臨時社員総会		P 6

●西部労福協

第10期理念—歴史—リーダー養成講座	P 7
第43回研究集会	P 7

●岡山県労福協

役員学習会	P 7
研修会	P 8

●出前講座

●倉敷地区労福協 ご紹介	P 9
●中国労働金庫水島支店紹介	P 10

●こくみん共済coop岡山推進本部

●中国ろうきん	P 11
---------	------

●中国ろうきん	P 12
---------	------



2026年 年頭あいさつ

一般社団法人 岡山県労働者福祉協議会
会長 小橋政次



新年あけましておめでとうございます。

日頃より、岡山県労福協の諸活動に対しまして、ご理解とご協力を賜っておりますこと、厚く感謝を申し上げます。

昨年を振り返ると、各所で発生する森林火災をはじめ、豪雨など国内で相次いで発生する自然災害が我々の生活に大きな影響を及ぼしました。加えて、今夏の平均気温は一昨年と並んで統計開始後で最高となり、その後も厳しい残暑が続くなど、とりわけ災害と気象に関する出来事が多い一年となりました。

経済面については、日本銀行がマイナス金利を解除し17年ぶりの利上げに踏み切ったほか、2009年以来15年ぶりに与党が過半数割れとなったこと、米国大統領選挙でトランプ氏が当選したことなど日本経済に影響を与えるさまざまな変化も訪れました。そうしたなか、日経平均株価がバブル期に付けた史上最高値を更新し「失われた30年」が終焉するという論調が飛び交っていたほか、賃上げ率の過去最高の更新、フランス・パリで開かれた夏季五輪における日本勢の獲得メダル総数、金メダル数のいずれも海外開催では過去最多となったこと、大盛況であった大阪万博など、明るい話題もみられました。

岡山県労福協では中央労福協や西部労福協および岡山県内労働者福祉事業団体・加盟労働団体・各地区労福協と十分な連携をはかり、共助拡大の取り組みを進めてきました。また、2004年度より継続されている「高校生のための出前講座」は、岡山県労福協の公益目的事業のひとつに位置づけられています。昨年度は新たな取り組みとして、「私学協会総会」、「県立高校公聴会総会」に出席して出前講座開催の要請を行いました。結果として、7校10講座、受講者数1,247名の出前講座となりました。引き続き、この活動を推進して参りますので、ご協力をお願いします。

運動を前進させるためには、今まで以上に会員である労働団体をはじめ、連合岡山、労働金庫、こくみん共済coop、岡山県生協連の皆さんとの「ともに運動する」関係を強化し、共助の輪を広げるとともに、公的セーフティネットを拡充させ、誰もが安心して暮らし、働くことができる社会をめざして、社会的な役割を果たしていきます。

末尾に、岡山県労働者福祉協議会に対しまして、皆さまの格段のご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げますと共に、皆さまご家族にとりまして、ご健康で幸多き一年となりますようご祈念を申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。本年もよろしくお願ひいたします。



すべての県民が明るい笑顔で暮らす 「生き活き岡山」を目指して

岡山県
知事 伊原木 隆太



謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

2026年の輝かしい新春を迎える、県民の皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。

昨年は、大阪・関西万博や瀬戸内国際芸術祭2025などを契機として、多くの観光客に岡山の魅力を体感していただいたほか、ファジアーノ岡山のJ1の舞台での躍動、山本由伸選手のワールドシリーズMVP獲得など、県民に大きな夢と感動を与えてくれる明るい話題が続き、岡山県は大きな盛り上がりを見せました。

県では、昨年から新たな県政推進の羅針盤となる「第4次晴れの国おかやま生き活きプラン」をスタートさせました。「夢を育む教育県岡山の推進」、「地域を支える産業の振興」、「安心で豊かさが実感できる地域の創造」の3つの重点戦略に加え、喫緊の課題である「結婚・子育ての希望がかなう社会の実現」を新たな柱と位置づけ、本県の持続的な発展のため、諸課題の克服に取り組んでおります。

その新たな柱では、「晴れ恋・晴れ婚プロジェクト」などを通じて若い世代の出会い、結婚の希望がかなう環境づくりを推進するとともに、「こどもまんなかマナーアップ県民運動」を展開するなど、社会全体で結婚や子育てを応援する気運の醸成に向け、さらに取り組みを加速させてまいります。また、若者や女性の還流と定着に向け、さまざまな施策を推進してまいります。

「教育の推進」では、昨年から本格導入を進めてきた生成AIなども活用しながら、子どもたちの主体的な学習習慣の定着を図り、学ぶ力の育成や誰一人取り残されない学びの実現に向けた不登校対策などに引き続き注力してまいります。

「産業の振興」においては、長引く物価高や人手不足など、県内企業を取り巻く環境は依然厳しい状況にあります。新事業への挑戦やデジタル化による生産性向上など、意欲ある中小企業を支援するとともに、観光振興については、国内外に向けたプロモーション等を積極的に展開し、観光消費額の拡大や地域経済の活性化を図ってまいります。

さらに保健・医療・福祉の充実や防災対策・暮らしの安全対策の強化など、「安全安心な地域づくり」にも着実に取り組んでまいります。

これまでの取り組みで生まれた好循環の流れをさまざまな分野に波及させながら、すべての県民が明るい笑顔で暮らす「生き活き岡山」の実現に向け、全力を尽くしてまいりますので、皆さまの一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



新年のご挨拶

日本労働組合総連合会 岡山県連合会
会長 小橋政次



新年あけましておめでとうございます。

岡山県労働者福祉協議会 会員の皆さんにおかれましては、ご家族とともに穏やかに新年を迎えたこととお慶びを申し上げます。

昨年は、連合岡山の活動に対しまして、多大なるご理解とご支援を賜り、深く御礼を申し上げます。

連合の2025春季生活闘争結果は、昨年に引き続きの高水準となりましたが、収入の格差拡大には歯止めが効かず、実質賃金としても、物価の高止まりなどで改善されていない状況であり、私たちの生活はさらに厳しさを増しています。このような時代には、労福協の活動が益々求められています。

連合岡山は、すべての働く仲間の「必ずそばにいる存在」となれるよう運動を進めていきます。そのためにも労福協が取り組まれている「2030年ビジョン」を共有し、貧困対策などの政策制度の充実・改善を求めていきます。誰一人取り残されることのない、持続可能で包摂的な「働くことを軸とする安心社会」の実現に向けて、共に前進させてまいりましょう。

岡山県労福協と各地区労福協のご発展、そして皆さまのご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。



新年のご挨拶

中国労働金庫東部エリア営業本部
本部長 森 信之



新年あけましておめでとうございます。

旧年中は、中国労働金庫の事業推進につきまして、格段のご協力に深く感謝申し上げます。

長く続く物価高騰は私たちの生活を苦しめ、貧困と格差拡大はより拍車がかかっています。このような時には、労福協の「共助拡大」をめざした運動の重要性がより高まっています。勤労者の生活向上と安定をはかるためには、公助・共助・自助のバランスある社会を実現しなければなりません。

2024年に日本銀行による政策金利の引き上げにより、金融情勢は大きく変化し、「金利のある社会」へと移行しました。中国労働金庫は、勤労者の生涯生活を支援するため、預金と投資の組み合わせによる資産形成支援やライフプランを踏まえた家計の見直し運動など、勤労者の抱える諸課題を解決する取り組み、期待に応える「お役立ち」をめざして、労福協と協働して推進していきます。

岡山県労働者福祉協議会の益々のご発展、皆様方のご健勝、ご多幸を心よりお祈り申し上げます。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。



新年のご挨拶

こくみん共済 coop 岡山推進本部
本部長 原田 茂



謹んで新春のお慶びを申し上げます。

旧年中は、こくみん共済coopの活動に対し、格別のご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございました。

2025年は、私たちにとって「変革と創造」の中期経営政策の集大成となる年であり、「みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会づくり」という理念のもと、組合員の皆さまの暮らしに寄り添う取り組みを一層強化してまいりました。

特に、「被災地応援プロジェクト」では、住まいの共済の見積もりを通じて被災地支援につなげる新たな共助の形を実現しました。また、子どもの健全育成、防災・減災など、SDGs達成に向けた社会活動にも力を入れ、地域社会との連携を深めております。

こうした活動は、労福協が掲げる「連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会」という理念と深く通じ合うものです。こくみん共済coopは、誰一人取り残さない社会の実現に向けて、共に歩み続けてまいります。

2026年も、皆さまの暮らしに安心を届けるため、保障の生協としての使命を果たし、協同組合の力を活かした地域共生社会づくりに貢献してまいります。

本年も変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げるとともに、皆さまのご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。



新年のご挨拶

岡山県生活協同組合連合会
会長理事 田中照周



新年あけましておめでとうございます。

皆さまにおかれましては、日頃より生協の活動にご支援ご協力を賜り心より御礼申し上げます。

国内は急速な少子高齢化に伴う人口減少と労働力不足、賃金上昇を上回る物価高、気候変動など、深刻な社会、経済課題が山積しています。一方、衆参で与野党が伯仲する不安定な政治はそれら課題に対応できていない状況です。

第2次トランプ政権が発足してから1年、世界は地政学的分断と保護主義に翻弄されています。

そのような中、県内生協はそれぞれの業種でふだんのくらしと健康を守り、安心を築くべく、事業・活動を展開しています。

昨年度は、国連が定めた「国際協同組合年」ということで、県内の農協、漁協、森林組合、ワーカーズコープと連携し、協同組合の意義と役割を伝えてきました。また、被爆・終戦から80年の節目にさまざまな平和の取り組みをすすめました。

引き続き、平和と安心してくらし続けられる地域社会づくりに、さまざまな団体とともに取り組んでいく所存です。皆さまにも変わらぬご指導ご支援を賜りますよう、よろしくお願ひいたします。

皆さまのご多幸とご繁栄を心よりお祈り申し上げます。

本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

2025年度臨時社員総会を開催

2025年12月12日に2025年度臨時社員総会を労働福祉事業会館5階大会議室において、招集社員数14名に対し11名の出席（委任状3名）を得て、「役員の補充選任」を議案として開催しました。

これに先立ち第2回役員選考委員会にて「役員の補充選任」を行うことを決定し、理事5名監事2名の方が立候補されました。

臨時社員総会は原田会長挨拶の後に議事に入り、第1号議案「役員の補充選任」について役員選考委員会の森委員より選考経過ならびに選考結果についてご報告いただき、候補者の提案を行いました。

提案については満場一致で決議され、新たに理事5名監事2名の方が選任されました。

その後の第4回理事会の互選により、新会長には小橋政次氏、新副会長に原田茂氏が就任しました。

なお、今回選任された理事・監事の任期は、2026年度第14回定時社員総会までとなります。



小橋会長 就任あいさつ



このたび会長とうい大役を仰せつかることになりました。労福協の理念やこれまでの取り組みを大切にしつつ、生活支援や相談体制の充実、若い世代の参加促進、そして関係団体・地域・行政との連携強化に力を注ぎ、「より安心して暮らせる岡山」の実現にむけて、誠心誠意取り組んでまいります。

臨時社員総会で新たに就任された理事・監事の皆さん



吉井 哲也 理事
(連合岡山)



西崎 知佳 理事
(連合岡山)



藤井 秀洋 理事
(総社地区労福協)



山形 俊彰 理事
(東備地区労福協)



児玉 博寿 理事
(こくみん共済coop岡山推進本部)



藤井 秀俊 監事
(連合岡山)



片山佳一郎 監事
(中国労働金庫)

臨時社員総会で退任された理事・監事の皆さん

市川 智弘さん (連合岡山)

吉葉 均さん (こくみん共済coop岡山推進本部)

高木 由夫さん (総社地区労福協)

三木 隆司さん (東備地区労福協)

難波 浩一さん (連合岡山)

小森 智子さん (中国労働金庫)

西部労福協「第10期理念・歴史・リーダー養成講座」

本講座は、21世紀社会に対応しうる新しい労働者福祉運動の構築にむけて、労働運動・労働者福祉運動の理念・歴史の伝承者（講師・リーダー）として、職場・地域で労働者福祉運動の新たな創造を担うリーダーの育成を図ることを目的に開催しています。

開催日／2025年8月8日（金）～9日（土）

場 所／「ピュアリティまきび」（岡山市）

内 容／1. 「競争か連帯か 労働者自主福祉運動（労金・全労済）の成り立ちとこれから」

講師：中央労福協 講師団講師 高橋 均 氏

2. 「労福協運動のこれまでとこれから」

講師：中央労福協 南部 美智代 事務局長

3. 分散会 「講義1・2を受講して」

ファシリテーター：徳島県労福協 梶本 一夫 専務理事

参加者／22名+（傍聴）12名+（事務局）2名=36名



西部労福協「第43回研究集会」

日 時／2025年11月6日（木）14：00～17：00

場 所／KAMEHUKU ON PLACE（山口県山口市）

出席者／原田会長、森副会長、堅田専務理事

時光理事（岡山）、児玉事務局長（こくみん共済coop）

白瀬事務局長（中国労金）、黒川事務局次長（県労福協）

出席者総数57名

議 事

I. 講演① 「Well-beingな暮らしにつながるDXとは？」

講師：山口大学国際総合科学部教授 杉山 学 氏

講演② 「持続可能な地域社会のあり方を考える—人口減少・高齢化と家族の変容のなかで—」

講師：山口大学経済学部教授 鍋山 祥子 氏

II. 交流会

講演①では、Well-being（主観的にその人が幸せ・豊かと感じる）とDX（デジタル技術を用いて販売・業務管理など既存のやり方を効率化・最適化するために変革を起こすこと）がどう繋がるのか、大企業や行政の仕事として認識するだけではなく、家庭の生活に取り入れる考え方を学びました。

講演②では、少子・高齢化対策として「子供の数を増やそう」ではなく、「そもそも今後子供の数は増加しない」という大前提の下で、「いかに満足した暮らしを実現するのか」を「男女ともに高齢者のケアと仕事の両立を考える時代」として捉えながら（真のワークライフバランス）、「多様な暮らしを包摂する地域づくり」が重要ということを学びました。



岡山県労福協 役員学習会

日 時／2025年9月5日（金）15：20～16：20

対 象／岡山県労福協 理事・監事 労働者福祉事業会館内職員

内 容／「こども食堂は地域の共有財産

—緩やかなつながりと支え合いの醸成—」

講 師／岡山こども食堂支援センター 理事長 直島 克樹 氏

2023年度より岡山県労福協が生活応援基金より支援している岡山こども食堂支援センターの直島理事長に、地域共生社会を考える中での「子どもの居場所」は、「こども」を真ん中に置いた「地域交流拠点」でなくてはならないという講義をいただきました。



2025年度岡山県労福協研修会

岡山県労福協では、「2025全国福祉強化キャンペーン」の一環として、これからの時代を担う若手組合役員（役員経験1～3年程度）を対象とした研修会を開催しました。

開催日／2025年10月18日（土）9：30～12：00

場 所／労働福祉事業会館 5階大会議室

参加者／各地区労福協加盟の組合役員（役員経験1～3年程度）

又は機関人

内 容／主催者挨拶 岡山県労福協 原田 茂 会長

講演1（60分）「南海トラフ地震に備えて今できること」

講師：防災士 木岡 繁男 氏

講演2（60分）「くろうきん運動>ってナニ！？」

世界も注目しているくろうきん>を知ろう！」

講師：くろうきん運動アドバイザー 大島 康治 氏



講演1 木岡講師



講演2 大島講師



主催者挨拶：原田会長

<出席者> 総数52名

①各地区労福協加盟の組合員又は機関人 39名

地区労福協名	出席者数	地区労福協名	出席者数
岡山	11名	倉敷	8名
津山	2名	玉野	4名
笠岡	3名	井原	1名
総社	3名	高梁	1名
新見	—	東備	6名

②主催者側 こくみん共済coop岡山推進本部 2名

中国くろうきん東部エリア営業本部 6名

県労福協事務局（会長・専務含め）5名

岡山県労福協 高校生のための出前講座

2004年度より、社会に巣立つ若者たちが『働くことの意識を確認し、同時に社会人・消費者として知っておくべき基礎知識を身につける』ことを目的として開催しています。

（開催状況）

実施日	会 場	内容（担当講師）	人 数
2025年11月 7日	県立倉敷鷺羽高校	消費者講座 (中国くろうきん水島支店・中原職員)	145名
2025年11月14日	県立倉敷鷺羽高校	ワーカルール講座 (岡山県労福協・黒川)	145名
2025年12月 9日	金光学園中学・高等学校	消費者講座 (中国くろうきん倉敷支店・宇野職員)	179名



倉敷鷺羽高校「消費者講座」



金光学園高校「消費者講座」

地区労福協ご紹介コーナー

倉敷地区労福協

《倉敷地区労福協の紹介》

倉敷地区労福協は、倉敷・水島・玉島・児島の4つの支部で構成されています。労福協としての活動充実をはかるとともに、支部独自の活動や会員相互の連携強化にも力点を置いた取り組みを展開しています。

《倉敷地区労福協の主な活動》

① 学習会

倉敷地区労福協として、例年、学習会を開催しています。2025年度はこくみん共済coopより講師を招き、「ぼうさい学習会」と称して54名が学習しました。



大東防災士による講義



聴講する参加者の様子

② 流域クリーン一斉行動

倉敷地区労福協では、高梁川流域連盟が毎年11月に行っている「流域クリーン一斉行動」に参加しています。今年もご家族含め127名の方に参加いただきました。



清掃前の出発式の様子



清掃活動している様子

《議長あいさつ》



倉敷地区労福協の横溝です。倉敷地区労福協は、勤労者福祉の充実に向けて、働く仲間のさまざまなニーズに応えられるよう、岡山県労福協、労働福祉事業団体、倉敷・水島・玉島・児島各支部と連携し、取り組みを展開しています。

労福協の理念である「すべての働く人の幸せと豊かさをめざして、連帯・協同で安心・共生の福祉社会をつくります」の実現に向けて、ともに取り組んでまいりましょう。

横溝 信幸 議長

中国労働金庫水島支店(新築移転)営業店紹介

中国労働金庫水島支店は、2025年11月25日に旧店舗の斜め向かいに新店舗をオープンいたしました。

1980年（昭和55年）8月、倉敷市神田に旧店舗を開店し、以降45年間にわたり会員の皆さま、地域の皆さまとともに歩んでまいりましたが、このたび新築移転いたしました新しい水島支店は、ご来店くださる皆さまに心地よいお時間を過ごしていただけるよう、真新しく清潔な店舗と職員の最高の笑顔とともに、皆さまのご来店をお待ち申しあげております。

これからも、会員・地域の皆さまのお役に立てるよう、職員一同全力で取り組んでまいりますので、変わらぬご愛顧をいただきますよう、よろしくお願い申しあげます。



山本支店長

ぜひご来店いただき、店内
もご覧になってください！



新
店
舗
外
観



オ
リ
ン
ピ
ニ
ン
グ
セ
レ
モ
ニ
ー

雨の中、多くの皆さまがお祝いに駆けつけてくださいました！

「もしも」に備え 「もしも」を防ぎ 「もしも」に向き合う。

こくみん共済 coop の始まりは1954年。

以来、たすけあいの仕組みである共済を通じ、たくさんの組合員の暮らしを支えてきました。

事故や病気、自然災害など、日々の暮らしは、さまざまなリスクと隣り合わせです。

だから私たちは、共済による「もしも」への備えはもちろん、

「もしも」を防ぐことや「もしも」の後をサポートすることが重要だと考えています。

身近にあるリスクに向き合い、たすけあいの輪で支え合う。

ぜひあなたの力を貸してください。

こくみん共済 coop は、これからも
「みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会」の実現に向け、
皆さまとともに取り組んでいきます。



公式キャラクター
ピットくん

たすけあいの輪をむすぶ



こくみん共済〈全労済〉

全国労働者共済生活協同組合連合会 coop

「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

あけまして
おめでとうござります

本年もよろしくお願い申しあげます。

二〇二六年 元旦



ろうきん
イメージモデル
森川 葵